

緑 山

令和7年度

第8号

令和7年12月19日発行

文責：校長 岸本行夫

人権週間における人権教育への取組

人権教育講演会

11月27日(木)午後、全校生徒を対象にした人権教育講演会を開催しました。今回の講演会には、LGBT講師として県内外で広く活躍しておられる佐藤みどりさんにお越しいただき、「自分らしくってなに？」という題でお話していただきました。佐藤さんはLGBT当事者であり、講演会等を通して情報発信をしておられます。今日はLGBTの基礎知識、当事者としての経験談、みんなが生きやすい未来についてお話を聞き、多様な性のあり方についての理解を深めました。2～4人のグループで「大切な人にカミングアウトされたらどう対応する?」「自分らしく生きるとは?」などの問いに対してディスカッションし、生徒が互いに意見交換する場面があり、一人ひとりがより深く考えることができました。私たちの中にあるアンコンシャスバイアス(無意識の偏見)について、自分が気づかないまま、決めつけていることがないかを考えるきっかけにもつながりました。人はみな違うからこそ、自分と合わないことを攻撃の理由にせず、合わないなら距離をとるなど、だれもが自分らしく、生きやすい未来になればと考えることのできる講演会となりました。

人権に関する授業公開

11月28日(金)に実施した人権教育に関する授業公開には、多数の保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。公開した授業は、1年生が「招かれなかったお誕生会」、2年生は「わたしのおかねなのに」、3年生は「峠」でした。3年生の授業では、自分自身の経験や思いの中で、「正しいと思っていても、周囲の常識や目が気になってできなかったこと」がなかったかなど、これまでの自分自身を振り返り、その思いこそが差別解消を妨げていることに気づかせる学習内容でした。各学級で資料をもとに人権について考え、自分はどうあるべきかの考えを深める時間となりました。

生徒会人権学級活動

12月4日(木)は、人権教育の一環として生徒会企画による人権学活を行いました。生徒会執行部において、今の四中の課題とめざしたい学校像を協議し、人権学活のキーワードを「思いやり」に決めました。これは「普段の学校生活において友達を冷やかしたり、先生や先輩への尊敬の気持ちが足りない言動があるのではないか」という実態から決めたものでした。生徒会のスローガンでもある『ONE 4 ALL☆ALL 4 ONE』の3本柱(メリハリ・積極性・思いやり)にもあるように「思いやり」を全校生徒が振り返る時間とすること、みんなが安心して楽しく過ごせる四中にすることをめざし、小グループによる「すごろくトーク」を行いました。友達の話をしっかり聞く、友達の思いを受け止める、話した友達がうれしくなるようなリアクションを返す等、全学級が同じルールのもと、すごろくの目で出たお題をトークしながら思いやりの気持ちを高めることができました。

PTAトライスクール

11月29日(土)午前、PTA環境厚生部と研修部の主催により「四中トライスクール」が行われました。和菓子作りやポーセラーツなどの参加型体験講座が開設されたり、体カテストやモルックなどのニュースポーツ体験も行われたりしました。私はポーセラーツに参加しました。ポーセラーツは真っ白な磁器(うつわ)にシール感覚で貼れる転写紙や上絵の具を使って、世界に一つだけのオリジナル食器を作るハンドクラフトです。食器に装飾したい模様や絵、図柄をたくさんの種類の中から選び、模様や絵を貼る位置や大きさなどを考えながら作業をしました。模様を貼りながらお互いの作品について質問したり感想を伝えあったりしながら会話も弾み、楽しい活動と交流ができた時間となりました。



第2回学校運営協議会

本年度第2回目の学校運営協議会を11月28日(金)に開催しました、当日は、4名の委員に参加いただき、人権に係る授業公開を参観後、協議会を行いました。校長より2学期における生徒の様子を説明し、各委員からは、授業の感想や地域での四中生のがんばりについてご意見やご感想を伺いました。今回の協議内容は今後の学校運営に活かしていきたいと思います。【校長より】

- 部活動では、全中飛込み競技で7位入賞をはじめ、県総体、中国大会で多くの部が活躍した。また、松江市新人大会では、二年生中心のチームで参加し、善戦した。さらに、県駅伝大会では男子チームが38年ぶりに優勝し、全国大会出場を果たした。
- 体育祭や合唱コンクールなどの行事を中心に生徒会執行部の生徒が活躍した。新たな取組を随所に盛り込み、全校生徒が積極的に活動に参加したくなる雰囲気を醸成し、学校への所属意識も高まっている。
- 各公民館主催の活動に中学生のボランティア活動の機会を与えていただき感謝している。
- 授業や学校行事、部活動等への取組の様子から、前向きに頑張る生徒が多い。

【委員より】

- 人権教育の授業を見学した。四中全体で取組が図られている。人権に対する思いや学びを大切にしていまい。
- 部落差別の問題はなぜ起きるのか。時代背景など身近な問題であると認識することや人権に対する意識を高める取組を継続して行うことはとても大切である。
- 納涼祭や公民館祭りなどの行事に中学生が積極的に参加してくれた。中学生の活躍は素晴らしいものがあった。
- 四中の生徒は、地域でのあいさつやボランティア活動への参加を頑張ってくれている。地域での大人との関わりは、子どもたちにも学びと喜びにつながっていると考える。
- 授業への取組はとても落ち着いていると感じたが、欠席が多い学級もあった。生徒の状況はどうか。



新生徒会役員選挙

令和8年の生徒会役員(会長・副会長)を決める立会演説会と投票が12月5日(金)午後に行われました。会長には3名、副会長には2名が立候補し、立会演説会では、全校生徒が体育館に集まり、会長と副会長に立候補した5名の話の聞きまし。生徒の意見を生徒会活動に反映させることや生徒会が企画運営するイベントの充実など、これからの四中をどのようにしていきたいのか、四中生徒会をどのように創りあげていくのかなどについて、立候補者が自分の考えを全校生徒に訴えました。

そして、立会演説会後には各クラスで投票を行いました。投票箱は松江市選挙管理委員会よりお借りし、一般の選挙と同じように実施しました。投票の結果、以下のとおり会長と副会長が決まりました。今後、新会長以下で生徒会役員の組閣人事を行い、3学期始めに任命式を行う予定です。

- 新生徒会長 金津 佳希(2年3組)
- 新生徒会副会長 大野 八雲(2年2組)・井上 藍(2年6組)



健闘!! 中四国ロボコン大会・全国中学校駅伝大会

12月7日(日)に、徳島県鳴門市で開催された第25回創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会中国・四国地区予選大会では、松江四中から応用部門に2チーム、制御部門に3チームが出場しました。大会結果は、応用部門でチーム名「アラバスタ」(小草さん、佐藤さん、松田さん、山中さん)が第3位入賞を果たしました。惜しくも全国大会出場は叶いませんでしたが、選手は健闘しました。

また、12月14日(日)に、滋賀県野洲市希望が丘文化公園スポーツゾーン芝生ランドにおいて、第33回全国中学校駅伝大会が開催され、松江四中男子駅伝部が初出場し力走しました。これまでの練習の成果を精一杯に発揮しようと1区から力強く粘りの走りを行いました。大会結果は惜しくも第40位という結果でした。

このたび中四国大会や全国大会に出場させていただき、生徒は多くの経験と学びをさせていただきました。また、チームにとっても来年につながる貴重な大会となりました。保護者や地域の皆様をはじめ、津田公民館様、津田スポーツ協会の皆様にはたくさんのご声援と激励をいただき感謝申し上げます。今回の大会出場を支えていただきました全ての皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

中四国ロボコン大会



全国駅伝大会

